

## 第1学年 生活科学習指導案（保小交流）

日 時：平成28年9月15日（木）2校時（9:30~10:15）

場 所：有住小学校 体育館

児 童：第1学年 男7人／女8人 計15人

園 児：ぞう組（5歳児） 男6人／女3人 計 9人

指導者：教 諭 坂 本 早弥香・生活支援員 水野 智恵  
保育士 大和田 咲

### 1 単元名 「ようこそ ねんちょうさん」

### 2 単元について

#### （1）単元について

本単元は、来年度入学してくる園児に、喜んでもらいたいという思いをもち、園児にも分かるように工夫して、学校生活のことを教えたり、一緒に楽しく遊んだりすることができるようにすることをねらいとしている。学習指導要領の内容（8）「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」に関連している。

従って、園児に、小学校の生活を分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか、また、小学校に入学するのが楽しみになるようにするには、自分たちはどうすれば良いのかと考えさせることができる。そして、学校生活について伝える準備をしたり、遊びを考えたりする活動を通して、自分や友だちのよさを出し合い行動していく力を育てたいと考え設定した。

そのため本単元の構成を、次のように組んだ。

#### 第一次

- 年長児にどんなことを教えたいか、喜んでもらうには何を一緒にしたらよいか考える。

#### 第二次

- 友だちと交流し、年長児を招待する準備をする。

#### 第三次

- 年長児を招待し、みんなとかかわり合いながら、交流する楽しさを味わわせる。

#### 第四次

- 活動を振り返り、年長児へお礼の手紙を書く。

※ 各段階に応じて、ねらいを明確にすることにより、適切な指導・支援を行う。

## (2) 児童と園児について

### ① 1年児童

本学級児童は、これまでに学校内の探検や学校周辺での交通安全教室、野菜の栽培、あさがおの世話などの経験をしている。よって、入学当初よりも小学校についての知識が増えており、継続的に野菜やあさがおの世話もできるようになってきている。積極的に友だちに関わろうとする児童が多く、1年生同士で遊ぶにととまらず他学年とも一緒に遊ぶ姿を見るときがある。休み時間は、外で遊具や一輪車、ボール遊びをすることを好む。しかし中には、自分のやりたいことのみを優先し、相手の気持ちを考えずに勝手な行動をとってしまったり、自分の思うようにいかないとすぐに手が出てしまう児童が数名いる。自分の考えを相手に強要するため、些細なことで友だちとトラブルになることもある。そのため、教師が児童の良いところを全体に広めたり、友だちの良いところを発表して認め合うという活動を行いながら指導している。

### ② 園児（5歳児）

年長児9名、年中児6名の混合クラスで共に生活しているが、年長児は年中児の世話を積極的に行ったり、当番活動をはりきって行ったり等意欲的に取り組んでいる。その反面、あそびや並ぶ順番、片付け等の場面ではトラブルになることが多い。自分さえ良ければそれでいいという気持ちが強く、相手の気持ちや思いに気づけないでいる事が原因と考えられる。集団あそびやグループ毎に取り組む活動を増やし、友だちと協力して1つの事をやり遂げることの楽しさや思いやりの気持ちが育つようにしていきたいと思っている。

## (3) 活動にあたって

### ① 1年児童

園児に学校のことを教えたり、一緒に遊んで楽しませたりすることが重要である。学校紹介の準備と友だちとのかかわりを一体化して取り扱っていくことで、自分のよさに気付いて自分に自信を持ち、また、友だちのよさにも気付いて理解を深めることができるものとする。そのためには、毎時間のめあてを明確にすることや、友だちや園児との交流の場を効果的に設定することが大切だと考える。学校紹介のためにどのような物を準備したらよいか教え合ったり、助け合ったり、紹介する内容を見せ合ったりする活動を通して関わりを深めたい。また、互いの思いを伝え合いながら、友だちのよさにも気付かせたい。

園児とは、本時でのふれ合いだけではなく、事前にも交流を行っている。7月19日（火）には、小学校のプールと一緒に水遊びを行った。その際、生活科で用意したペットボトルの水鉄砲を用いて遊び、1年児童は、園児の様子を遊びの中で見る事ができた。9月9日（金）には小学校の体育館で園児と遊び、またこの時に本単元の招待状を渡した。

本単元の活動「ようこそ ねんちょうさん」を通して、思いやりや友だちと協力する大切さに気付かせていきたい。

### ② 園児（5歳児）

今までの小学校の交流では、5月の運動会交流、7月のプール交流等を行ってきた。5月の運動会交流では、5年生のお兄さんお姉さんとペアになり親しみを持って安心しながらレースに参加することができた。7月に行った1年生とのプール交流では、深さや大きさ等、保育園のプールとの違いを知る事ができた。また、1年生が頭まで水に潜れる姿を見て、水に顔をつけられな

かった子も自分から挑戦し、水に顔をつけられるようになる姿もみられ、さらにプールあそびに喜んで取り組んでいる。

交流を通し、小学校への興味・関心が高まってきているばかりではなく、上級生や先生方も身近に感じ、安心感が持てるようになってきている。小学校生活に対する不安感が少しでも軽減され、安心感へと変わり、小学校は「楽しいところ」、「早く小学校へ行きたいな」という期待感をもって就学へつなげていきたいと考えている。

### 3 単元の目標

◎ 来年度入学してくる年長児に喜んでもらいたいという思いをもち、新しい1年生にも分かるように工夫して、学校生活のことを教えたり、いっしょに楽しく遊んだりすることができる。

### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度

- ・ 年長児を温かく迎えようと準備をしたり、交流をしたりしている。

思考・表現

- ・ 自分が入学した頃のことを振り返り、その頃の気持ちを思い出しながら、伝え方や関わり方などを工夫して年長児を迎える準備や交流をしている。

気付き

- ・ 年長児を迎える準備や交流を通して、思いやりや友だちと協力する大切さ、みんなであそぶことの楽しさに気付いている。